

■エリアの特性

(地形特性)

- ・「望みの丘」頂上部は、中地区内で標高が一番高い
- ・頂上部～谷口池側は急斜面
- ・頂上部～向井池側は緩傾斜

(植生)

- ・頂上部を中心に竹林が広がる(現況は間伐により、広葉樹主体)
- ・谷口池側斜面～向井池周辺にコナラ・アベマキ群落

(アクセス性)

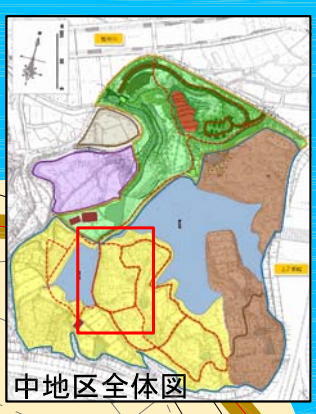
- ・パークセンター及び郷の館に近く、幹線園路からのアクセスが容易
- ・既存の散策路が整備済み
- ・頂上部まで及び谷口池側斜沿いに小道が残る

凡例

	散策路
	園路
	幹線園路
	平坦地
	既存竹林
	既存樹林
	主要既存木
	ため池
	段差
	勾配変化点

泉佐野丘陵緑地「望みの丘」
現況平面図
 A3:S=1/500

郷の館



■目標とする将来像
 かつての広葉樹林を再生し、心地よい林間の散策や北側に広がる眺望を楽しむエリア
 また、樹林地の特性を活かした体験学習等のイベントのフィールドとして活用するエリア

■来園者への開放範囲
 当面は、園路、散策路、広場部に限定する。
 各ゾーンや樹林の整備方針が定まった時点で、さらに開放するか検討を行う。

安全対策
 (階段の設置)
 (手すりの設置)

迂回路の整備
 平場の整備
 眺望の確保
 View②



景色が見え隠れする程度の樹林の再生

園路2.0m
 (竹の縁石の設置)
 (樹林への進入限定)
 (園路両側の樹林の再生)



移動途中に見え隠れする眺望を楽しむ
 落ち葉のプールなどに利用



進入防止柵の設置
 園路1.0m
 (竹の縁石の設置)
 (樹林への進入限定)

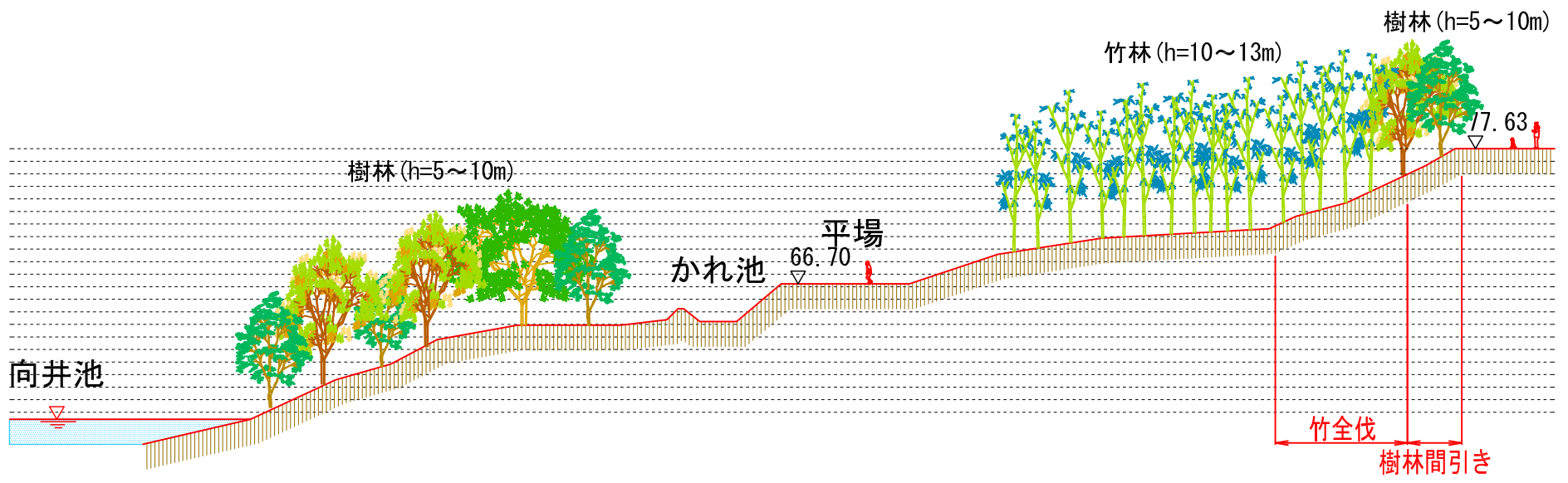
凡例

	散策路
	園路
	幹線園路
	平坦地
	既存竹林
	既存樹林
	主要既存木
	ため池
	段差
	勾配変化点
	辻サイン
	手すり・柵

泉佐野丘陵緑地「望みの丘」
 計画ゾーニング図
 A3:S=1/500

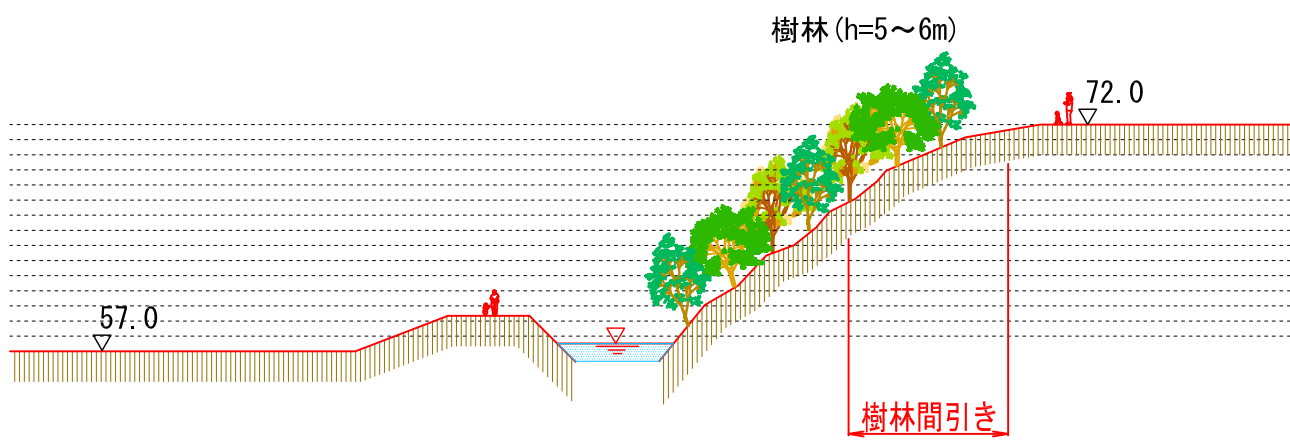
郷の館

Vew①断面図
S=1/500



DL=40.0

Vew②断面図
S=1/500



DL=40.0